

平成30年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文B	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	2	教科書	精選現代文B (東京書籍)		
副教材等	精選現代文B学習課題ノート (準拠ノート)				

学習の目標	1 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。 2 論理的思考力や想像力を身に付け、自分の意見を的確に表現する力を養います。
学習の方法	・授業に集中して取り組み、本文を要約したり、自分の考えを書いたり発表したりする活動に積極的に参加しましょう。また、ノートの整理などもきちんとしておきましょう。 ・学習課題集の問題を解いたり、漢字や語句の意味を調べたりして、語彙力を高めましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1 学期 中間	評論1 現実と仮想	・評論を読み、その構成・展開・要旨などを、文脈に即して的確に読み取ります。 ・脳科学についての文章を読み、思索を深めます。 ・小テスト、ノート、定期考査	B	—	—	A	B
	小説1 檸檬 赤い繭	・小説を読み、場面や登場人物の描写を的確に捉えます。 ・心象風景を描いた小説の読み取りを通じて、洞察力を養います。 ・小テスト、ノート、定期考査	B	—	—	A	B
1 学期 末	評論2 他者の声 実在の声	・評論を読み、筆者の述べる人間・社会について、的確に理解します。「他者」について、様々な見方や考え方があることを理解します。 ・小テスト、ノート、定期考査	B	—	—	A	B
	随想 クレールという女	・随想を読み、そこに書かれた内容を的確に捉えます。個性的な内容の随想を読むことを通じて、感性や心情を豊かにします。 ・小テスト、ノート、定期考査	B	—	—	A	B
2 学期 中間	評論3 垂直のファッション、水平のファッション	・評論を読み、語句の意味や表現上の特色を捉え、自分の表現に役立てます。 ・ファッションの役割について、複数の視点から考えます。 ・小テスト、ノート、定期考査	B	A	—	—	B
	小説2 舞姫	・文語文で書かれた小説の内容を的確に理解し、時代背景を踏まえて登場人物の言動・心情を読み取り人間の生き方について考えを深めます。 ・小テスト、ノート、定期考査	B	—	—	A	B
2 学期 末	評論4 グローバル化のゆくえ	・評論を読み、筆者の述べる人間・社会について、的確に理解します。空間的、時間的に異なる世界について論じた文章を読み、思索を深めます。 ・小テスト、ノート、定期考査	B	—	—	A	B
	小説3 俘虜記	・小説を読み、場面や登場人物の設定と話の推移を的確に捉えます。戦争という極限状態を描いた小説を通じて、人間存在の意義について考えを深めます。 ・小テスト、ノート、定期考査	B	—	A	—	B
学 年 末	評論5 抗争する人間	・評論を読み、その内容について様々な情報を整理・分析し、自分の意見を表現します。現代の問題についての考えを深め、筆者の主張について論理的に評価します。 ・小テスト、ノート、定期考査	B	A	—	—	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査は行いません。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	国語	科目	古典B	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	2	教科書	精選古典B 古文編（東京書籍）、精選古典B 漢文編（東京書籍）		
副教材等	精選古典B 学習課題ノート古文編（東京書籍）、精選古典B 学習課題ノート漢文編（東京書籍）				

学習の目標	<p>1 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てます。</p> <p>2 古典に親しむことで言語感覚を豊かにし、文化を理解する力を養います。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・予習では、ノートに本文、文法、口語訳などを記入しておきます。また、音読をしましょう。 ・授業中は、口語訳や文法の確認を中心に行います。しっかり聞いて、予習の段階で分からなかったところを確認しましょう。 ・復習では、学習課題ノートを解いて、学習した内容を定着させましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1学期 中間	古文（随筆2）	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が主張している内容について整理します。 ・登場人物の心情を、表現に即して考えます。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
	漢文（十八史略）	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情を理解します。 ・漢文に頻出する語彙や句法を確認し、現代語訳します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
1学期 末	古文（日記2）	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中に現れた作者の心情や考え方を理解します。 ・文中の助動詞の意味・用法について理解する。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
	漢文（詩3）	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の情景や心情を読み味わいます。 ・各詩の詩型及び押韻を確認します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
2学期 中間	古文（物語3）	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の関係を、敬語の使われ方から理解します。 ・文中の助詞・助動詞の意味・用法について理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
	漢文（史記2）	<ul style="list-style-type: none"> ・句法や頻出の語彙に注意しながら現代語訳します。 ・登場人物の人物について考察します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
2学期 末	古文（物語4）	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情を、表現や行動に即して読み取ります。 ・和歌の内容を理解し、読み手の心情を理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
	漢文（小説2）	<ul style="list-style-type: none"> ・句法に注意しながら書き下し文・現代語訳を整理します。 ・人物関係を整理し、それぞれの性格を読み取ります。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
学年 末	古文（評論2）	<ul style="list-style-type: none"> ・本文全体を通して、作者の主張を読み取ります。 ・本文中の敬語について理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト 	B	—	—	A	B
	漢文（思想2）	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子・孟子・老子が尊ぶ「人間像」を考察します。 ・孔子の理想する政治論について理解する。 ・行動の観察、ノート、小テスト 	B	—	—	A	B
	古文（古文へのまなざし）	<ul style="list-style-type: none"> ・「内容思考」と「表現思考」という二つの異なる文化についてまとめます。 ・行動の観察、ノート、小テスト 	B	—	—	A	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	地理A	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	2	教科書	高等学校 新地理A（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）		
副教材	フォトグラフィア地理図説（東京法令出版）				

学習の目標	地理では、現代世界の抱えている諸問題を、身近なところから世界的規模まで空間的な広がりの中からとらえて考察する姿勢を身に付けます。
学習の方法	・地図帳や作業地図などを活用して、自然環境、産業、さまざまな人々の生活・文化、地球的課題などの特徴や分布状況を空間的な広がりの中からとらえていきましょう。自分の知識や体験を通して、普段からさまざまな問題に興味・関心を持ち、解決しようとする前向きな姿勢を大切にしましょう。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学 期 中 間	第1部 世界の諸地域の姿と地球的課題 1章 地球儀や地図からとらえる現代社会	・地上の現象と地球上の位置、時差、地図の図法、国家の領域と国境、日本の領域と領土問題、交通、通信、貿易について学習します。 ・ノート、作業プリント、定期考査	B	A	B	B
	2章 人間生活を取り巻く環境	・人々の生活と地形、気候、産業、文化の関連性について学習します。 ・ノート、作業プリント、定期考査	B	B	-	A
2 学 期 中 間	3章 世界の諸地域の生活・文化	・東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、西アジア、アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、アンソロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニアなどの生活や文化について学習します。 ・ノート、作業プリント、定期考査	B	B	B	A
2 学 期 末	4章 地球的課題と私たち	・環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題、都市・居住問題について学習します。 ・ノート、作業プリント、定期考査	B	A	-	B
3 学 期	第2部 身近な地域の調査 1章 身近にあるさまざまな地図	・身近にあるさまざまな地図、GISやGPSの仕組み、情報を地図化する方法を学習します。 ・ノート、作業プリント	B	B	A	B
	2章 日本の自然環境と防災	・日本の自然環境、火山災害、地震被害、風水害、防災について学習します。 ・ノート、作業プリント	B	A	-	B
	3章 身近な地域の課題と地域調査	・身近な地域の課題やその調査方法、調査内容のまとめ方について考えます。 ・ノート、作業プリント	A	B	B	-

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	公民	科目	政治・経済	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	3	教科書	改訂版 政治・経済 (数研出版)		
副教材	政治・経済資料集 (東京法令出版)				

学習の目標	1 現代の日本の政治・経済及び国際関係について関心を高め、政治・経済に関する基本的な知識や見方・考え方を身に付けます。 2 政治や経済、国際関係などに関する諸課題を主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民としての態度を育みます。
学習の方法	・教科書を基本教材としつつ、資料豊富な副教材も活用します。 ・定期的な内容確認の小テストを実施し、学習内容の定着を図ります。 ・教科書を読み授業に臨みましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法 第1節 民主政治の基本原則	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治の基本原則を学び、民主政治の本質を理解します。 学習プリント、小テスト、定期考査 	B	B	—	A
	第2節 日本国憲法と基本的人権	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、政治機構について学習し、民主主義の本質を理解します。 学習プリント、定期考査 	B	B	—	A
	第3節 日本の政治機構	<ul style="list-style-type: none"> 日本の政治機構について学習し、現代日本の政治について理解を深めます。 学習プリント、小テスト、定期考査 	B	B	—	A
1 学期 末	第4節 政治参加と民主政治の課題	<ul style="list-style-type: none"> 政党政治と選挙、世論から現代政治の特徴を学び、主権者としての政治参加の在り方を考察します。 学習プリント、小テスト、定期考査 	B	A	—	B
	第2章 現代の国際政治 第1節 国際政治の動向	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会の変遷や国際法、国際機構について学習し、国際政治の特徴について理解し、国際平和のための日本の役割を考察します。 学習プリント、小テスト、定期考査 	B	B	—	A
	第2節 国際社会の課題と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> 現代の国際社会の課題である核兵器や地域紛争の問題をもとに日本の役割を考察します。 学習プリント、定期考査 	B	A	B	—
2 学期 中間	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質 第1節 経済活動の意義と経済体制	<ul style="list-style-type: none"> 資本主義経済と社会主義経済の発展と変容と経済体制について学び、現代の日本経済及び世界経済について理解します。 学習プリント、定期考査 	B	B	—	A
	第2節 現代経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 国民経済における市場経済の機能や限界、財政や金融機関の役割などについて理解し、経済社会の在り方について考察します。 学習プリント、小テスト、定期考査 	B	B	—	A
	第3節 日本経済と福祉の向上	<ul style="list-style-type: none"> 戦後の日本経済を学び、中小企業や農業、労使関係、少子高齢社会についての課題を考察します。 学習プリント、小テスト、定期考査 	B	A	—	B
2 学期 末	第2章 国民経済と国際経済 第1節 国際経済の動向	<ul style="list-style-type: none"> 貿易の意義や為替相場、国際収支のしくみについて理解し、国際協調の必要性や国際経済における日本の役割を考察します。 学習プリント、小テスト、定期考査 	B	B	—	A
	第2節 国際経済の課題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> 政治や経済などの基本的な理解を踏まえ、少子高齢化や地域社会、産業構造の変化など現代日本の諸課題について考察します。 学習プリント、定期考査 	B	A	—	B
	第3編 現代社会の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題や資源エネルギー問題、国際経済格差など地球規模の課題に対する日本の役割について、政治と経済を関連させて考察します。 学習プリント、レポート、定期考査 	B	A	B	—
3 学期	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 大学入試センター試験の過去問を中心として、問題演習を行い、問題の傾向に慣れるようにします。 学習プリント、小テスト 	B	B	B	A

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	数 学	科 目	数学探究A	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	3	教科書	数学探究A(学校作成教科書)		
副教材等					

学習の目標	数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間とのかかわりや、社会生活において数学が果たしている役割について理解し、数学に対する興味・関心を高めるとともに、数学を活用していく能力を身に付けます。
学習の方法	・予習・復習を徹底するとともに、疑問点や問題点の改善に努力してください。 ・課題は指定された期日までに、内容をよく確認して提出してください。

学 期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学 期 中 間	[数学I] 数と式	・式の展開、因数分解について演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	B	A	—
	2次関数	・2次関数とグラフについて演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	A	—	B	B
1 学 期 末	図形と計量	・三角比について演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	A	—	B
	データの分析	・データの読み取り方、箱ひげ図などについて演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	A	B	B	—
2 学 期 中 間	[数学A] 場合の数と確率	・順列、組合せ、条件付き確率について演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	B	A	B
	整数の性質	・整数問題、ユークリッドの互除法について演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	B	—	A
2 学 期 末	図形の性質	・三角形と円の図形的性質についての演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	B	B	A
	問題演習①	・各分野の融合的な演習問題を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト	B	B	—	A
3 学 期	問題演習②	・各分野の融合的な演習問題を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト	B	B	—	A
	家庭学習	・自主的、自発的な演習問題を行います。 ・課題プリント、ノート				

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	理科	科目	地学基礎	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	2	教科書	地学基礎 改訂版 (啓林館)		
副教材等	地学学習帳 (愛媛県高等学校教育研究会理科部会) ・ニューステージ新地学図表 (浜島書店) ・センサー地学基礎 (啓林館)				

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 身の回りにある自然の事物の観察や、発生する自然現象について考察します。 2 地学を通して、科学的に思考する態度や真理を探究する姿勢を身に付けます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を使って、授業をしながら板書を取る授業です。 ・岩石標本や実験などを行い、岩石の特徴や気象現象などの理解を深めます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 固体地球とその変動 (1) 地球 (2) 活動する地球	<ul style="list-style-type: none"> ・固体地球について、観測・計測データから理解します。 ・観察・実験、課題プリント、定期考査 	B	B	B	A
	2 移り変わる地球 (1) 地球史の読み方 (2) 地球と生命の進化	<ul style="list-style-type: none"> ・地上での環境の変化や生物の進化を地層に残された証拠や化石から推察し、先史時代の歴史を理解します。 ・観察・実験、課題プリント、定期考査 	B	B	B	A
2 学期 中間	3 大気と海洋 (1) 大気の構造 (2) 太陽放射と大気・海水の運動	<ul style="list-style-type: none"> ・天気図や日々の天気現象を原因と結果を理解しながら深めます。 ・観察・実験、課題プリント、定期考査 	B	B	B	A
	(3) 日本で見られる季節の気象	<ul style="list-style-type: none"> ・日本における季節ごとの天気図の移り変わりを、原因と結果を理解しながら深めます。 ・観察・実験、課題プリント、定期考査 	B	A	B	B
2 学期 末	4 宇宙の構成 (1) 太陽系と太陽 (2) 恒星としての太陽の進化	<ul style="list-style-type: none"> ・恒星について理解し、太陽を恒星の一つと考えて学習します。 ・星の集合である銀河、とりわけ太陽系の属する銀河系について、理解を深め、銀河の存在する宇宙について体系的に学習します。 ・課題プリント、定期考査 	B	B	A	B
	5 自然との共生 地球環境と人類の関係	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで習ったことを実生活と関連づけて学びます。 ・日本で起こりうる災害に対して、被害を小さくしたり、生きのびるためにどうすべきかを考えていきます。 ・課題プリント、定期考査 	B	B	—	A
3 学期	総合演習	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容の復習に取り組みます。 ・プリント 	B	B	—	A

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査は実施しない
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	3	教科書	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)		
副教材等					

学習の目標	<p>1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。</p> <p>2 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、健康・安全・運動についての課題を主体的に解決する意欲や能力を育てます。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動、球技・武道(選択)、ダンス・陸上競技(選択)を通して、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てます。 ・体育理論では、座学でスポーツにかかわる生活のあり方について学びます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐし運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することに学びます。 ・行動観察 	A	B	—	B
	選択1(球技【ソフトボール・バレーボール・テニス】・武道)	<ul style="list-style-type: none"> ・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・実技テスト 	B	B	A	B
	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。 ・行動観察 	A	—	—	B
2 学期	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。 ・行動観察 	B	B	A	B
	選択2(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツを行うことで、大きな達成感や喜びを味わい、心や体を健康にすることを学びます。 ・小テスト 	A	B	B	B
	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離を走ることにより自分と向き合い努力すること、粘り強く相手と競り合う強い心を養うことを目標にします。また、ペース配分をしたり、ペースの変化に対応するなど主体的に取り組むことができるようにします。 ・小テスト 	B	—	—	A
3 学期	陸上競技(長距離走)	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離を走ることにより自分と向き合い努力すること、粘り強く相手と競り合う強い心を養うことを目標にします。また、ペース配分をしたり、ペースの変化に対応するなど主体的に取り組むことができるようにします。 ・記録計測 	A	B	B	B
	選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的な動きを理解し、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学びます。 ・実技テスト ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・実技テスト 	B	B	A	B

平成30年度 シラバス

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語II	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	3	教科書	BIG DIPPER English Communication II (数研出版)		
副教材等					

学習の目標	<p>1 英語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養います。</p> <p>2 英語を通して、多様なものの見方や考え方を理解し、自国のこと、諸外国のことを知り、広い視野から国際理解を深めます。</p>
学習の方法	<p>・2年次で学んだ内容を踏まえながら、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を使って、英語で情報を受け、発することを主眼に置きます。積極的に授業に参加できるように、新出単語・熟語調べや、サイトトランスレーションにより本文の内容を把握するなどの予習を行ってください。</p>

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Lesson 5 Ueno Takahiro	<ul style="list-style-type: none"> ・世界的に活躍するダンサーである上野隆博さんの挫折や挑戦について知り、諦めずに夢を追いかけることの大切さについて理解します。 ・SVOC(C=過去分詞)、仮定法過去完了、分詞構文の用法を学びます。 ・定期考査 	B	A	B	B
	Lesson 7 The Whimsical Robot	<ul style="list-style-type: none"> ・星新一さんの「きまぐれロボット」を英語で読み内容を理解するとともに、ストーリー展開を予測したり推測したりする方法を学びます。 ・仮定法 (as if+仮定法、It S were to～) の用法について学びます。 ・定期考査 	B	B	A	B
2 学期 中間	Lesson 9 A Bridge to the Future for Orangutans	<ul style="list-style-type: none"> ・絶滅の危機に瀕する動物たちのために、私たちにできることは何かについて理解します。 ・used to、同格を表すof / thatの用法について学びます。 ・定期考査 	B	A	B	B
	Lesson 10 Floating Education	<ul style="list-style-type: none"> ・バングラディッシュで大洪水が起きた後、人々がどのように逆境を乗り越えたかを知るとともに、教育の大切さについても理解します。 ・未来完了、無生物主語の用法について学びます。 ・定期考査 	B	B	A	B
3 学期	READING Annemarie's Basket	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦中のナチス占領下のデンマークで、ユダヤ一家の脱出を手助けするアンマリーとその家族、人種差別の残酷さ、戦争の悲惨さを読み取ります。 ・in time for, without fail, as 原級 as A can などの表現を学びます。 ・課題プリント 	B	A	B	B

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教 科	外国語	科 目	英語表現Ⅱ	学年 学科 類型	3年 商業科 Ⅱ型
単位数	3	教科書	Vision Quest English Expression II Advanced (啓林館)		
副教材等					

学習の目標	1 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。 2 事実や意見を多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養います。
学習の方法	・予習として各課のポイントを理解した上で練習問題を解きます。授業では教科書にある表現や文法事項を補充問題で練習するとともに、それを用いて自分の意見を表現できるようにします。自由英作文の課題が出る場合がありますから忘れずに準備してください。

学 期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学 期 中 間	Part 1 Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12 Lesson 13	・受動態、仮定法について学習します。 ・自分の趣味や好きな映画について英語で表現します。 ・仮定法を用いたエッセイを作成します。 ・可靠/不可靠名詞、名詞を修飾する語句、助動詞について学習します。 ・高校生のボランティア活動について英語で表現します。 ・表現や文法事項を補充問題で練習します。 ・小テスト、課題プリント、発表、定期考査	B	A	—	B
	Lesson 14 Lesson 15 Lesson 16 Lesson 17 Lesson 18	・関係詞、副詞・副詞句について学習します。 ・自分の行ってみたい地域、国について英語で表現します。 ・思い出の写真について英語で表現します。 ・科学技術の功罪について英語で表現します。 ・副詞節、比較について学習します。 ・携帯電話の良い点悪い点について英語で表現します。 ・表現や文法事項を補充問題で練習します。 ・小テスト、課題プリント、発表、定期考査	B	A	—	B
2 学 期 中 間	Lesson 19 Lesson 20	・比較、否定表現について学習します。 ・インターネットの問題点について英語で表現します。 ・小テスト、課題プリント、定期考査	B	A	—	B
	Part 2 Lesson 1 Lesson 2	・列挙、順序の表現を学習します。 ・例示、追加の表現を学習します。 ・表現や文法事項を補充問題で練習します。 ・小テスト、課題プリント、発表、定期考査	B	A	—	B
2 学 期 末	Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5	・比較、対照の表現を学習します。 ・原因、理由、結果の表現を学習します。 ・要約の仕方を学習します。 ・表現や文法事項を補充問題で練習します。 ・小テスト、課題プリント、定期考査	B	A	—	B
	Part 3 Lesson 1 Lesson 2	・プレゼンテーションの準備をします。 ・プレゼンテーションの質疑応答や評価方法を学習します。 ・ディスカッションに役立つ表現、評価方法、進め方を学習します。 ・小テスト、課題プリント、発表、定期考査	B	A	—	B
3 学 期	Lesson 3	・ディベートの進め方を学習します。 ・ディベートの準備をします。 ・ディベートを行う上での注意点や判定表現を学習し、ディベートを実施します。 ・表現や文法事項を補充問題で練習します。 ・小テスト	B	A	—	B

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	家 庭	科 目	家庭基礎	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	1	教科書	新家庭基礎 主体的に人生をつくる (大修館)		
副教材等	平成29年度 家庭科ノート・調理ノート基礎編 (愛媛県家庭科教育研究会)				

学習の目標	1 高齢社会、衣生活、住生活、消費生活について学び、人生を主体的に切り開く力を身に付けます。 2 生活の中で生じる課題を主体的に解決する実践力を養います。
学習の方法	・生活に関する知識や技術を実験や実習を通して、実践的かつ総合的に学びます。 ・生活者としての自立をめざし、よりよい生活を創造する能力と実践力を身に付けます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	7章 衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・日常多く用いられる被服材料の特徴について取り扱い、用途や目的にあった被服材料の選択や、材料に合った被服管理を学習します。 ・調理実習、ノート、定期考査、課題プリント 	B	B	B	A
1 学期 末	3章 高齢期を生きる 4章 共生社会を生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の特徴や生活、高齢社会の現状や課題について取り扱います。 ・社会保険制度について取り扱い、ノーマライゼーション実現のため、自分たちがどう考え、取り組んでいけばよいか考えます。 ・ノート、定期考査 	A	B	B	B
2 学期 中間	8章 住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で安全な室内環境にするため、どのような工夫が必要かを考え、自分の住生活を快適にするよう学習します。 ・ノート、定期考査、課題プリント 	B	B	B	A
2 学期 末	5章 経済生活をつくる 生活に関わる小物の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活の現状と課題、家計管理、経済の管理や計画について学習し、自ら考え自立した消費者を目指します。 ・ノート、定期考査 ・被服製作に必要な基礎的な知識や技術を学習します。 ・被服実習、ノート 	B	B	B	A
3 学期	10章 生活をデザインする	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の価値観にもとづいて、生活設計を考えられるよう学習します。 ・ノート、調理実習 	B	—	A	B

(備考) 1、2学期の定期考査は、期末に行う。

平成30年度 シラバス

教科	商業	科目	課題研究	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	2	教科書			
副教材等	志望理由書・自己PR文完成ノート（第一学習社）、小論文ジャンル別キーワード解説・ワークブック（桐原書店）				

学習の目標	<p>1 入試に対応できる小論文作成や面接の技術を習得し、問題解決の能力を身に付けます。</p> <p>2 入試のための資料や情報の収集、模擬面接練習やテーマ別演習を通して、思考力や表現力、自発的・創造的な学習態度を身に付けます。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・経済に関する書籍や用語辞典等を使い、情報収集を行います。 ・大学の過去問題に触れることで入試に対応できる小論文の作成技術を学びます。 ・面接試験（ディスカッション含む）との関係も深いので面接練習も同時に行います。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 小論文の書き方	<ul style="list-style-type: none"> ・良い小論文を書くためには、課題の主旨を正確につかむことが大切であることを理解します。また、論理的な意見や理由付けの重要性、反証の仕方などを学びます。さらに、要約についても学習します。 ・行動の観察、実習日誌、ワークブック、課題プリント 	A	—	—	B
	2 様々な出題形式	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する推薦入試では、小論文の出題形式も様々です。ここでは、例題を基に、テーマ型、課題文型、データ型、融合型、教科型などの様々な出題形式について学びます。 ・行動の観察、実習日誌、ワークブック、課題プリント 	A	—	—	B
1 学期 末	3 志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> ・志望理由書で押さえておきたい4つのポイント（将来の目標、動機、過程、志望先とのマッチング）を理解した上で、自分史を作成し、その後、志望理由書を考えていきます。 ・行動の観察、実習日誌、ワークブック、課題プリント 	B	B	A	—
	4 自己PR文	<ul style="list-style-type: none"> ・自己PRで押さえておきたい4つのポイント（長所、理由、長所を得た経緯、将来への抱負）を理解した上で、ワークシートを完成させた後、自己PR文を完成させていきます。 ・行動の観察、実習日誌、ワークブック、課題プリント 	B	B	A	—
2 学期 中間	5 面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・面接の質問内容には必ず面接官の意図があります。質問の意図を考え、適切な回答ができるように準備をし、対策を練っていきます。 ・行動の観察、実習日誌、ワークブック、課題プリント 	B	—	—	A
2 学期 末	6 模擬面接	<ul style="list-style-type: none"> ・面接対策を踏まえ、実際に模擬面接を行っていきます。面接の形式は受験校によって様々であるが、各大学、専門学校に合わせた形式（個別面接、グループ面接、集団討論）で模擬面接を行い、実践力を身に付けていきます。 ・行動の観察、実習日誌、面接 	B	B	A	—
3 学期	7 テーマ別演習	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習してきたことをテーマ別に課題を設定し、反復学習をします。 ・行動の観察、実習日誌、ワークブック、課題プリント 	B	A	—	B

(備考) 1、2、3学期とも定期考査は実施しない。

平成30年度 シラバス

教科	商業	科目	ビジネス経済応用	学年・学科・類型	3年 商業科 II型
単位数	3	教科書	ビジネス経済応用 (実教出版)		
副教材	ビジネス経済応用問題集 (実教出版)				

学習の目標	1 企業の経営、経済活動に関する基礎的・基本的な知識を学びます。 2 国際社会の一員としての心構えについて学び、国際的なビジネスの諸活動に適切に対応できる能力と態度を身に付けます。
学習の方法	・国際的なビジネスに必要な経営・経済の基礎的知識を、具体的事象や事例を通して学習します。 ・教科書中心ですが、問題集や資料などを適宜利用します。また、新聞記事なども利用し、感想等を発表し、経済事象についての考えをまとめていきます。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 サービス経済化とサービス産業	<ul style="list-style-type: none"> 企業活動の内容や、企業が果たす役割について理解し、企業が成長するための要因や方策などを学びます。また、企業の国際化・グローバル化の様子について、具体的に見ていきます。 行動の観察、課題プリント、ノート、発表、定期考査 	A	B	—	B
1 学期 末	第2章 経済の国際化	<ul style="list-style-type: none"> 戦後から今日に至る社会の大きな変化の中で、わが国日本の企業が発展してきた背景を理解し、日本企業の経営の特質について学びます。また、変化の激しい経済社会に、企業経営がどのように対応しているかを学びます。さらに、経済社会の一構成要素として企業の社会的責任について考えてみます。 発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
2 学期 中間	第3章 金融市場と資本市場	<ul style="list-style-type: none"> 企業や私たちの生活の営みである家計が構成している国の経済にスポットをあて、わが国の経済社会の変化について、生産・労働・消費の側面から学びます。また、私たちの国の経済の状況はどのような指標で表されているのかなど、経済のしくみについて学習します。さらに、政府の経済活動のしくみと、我が国の金融のしくみについて理解します。 発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	—	A
2 学期 末	第4章 企業経営	<ul style="list-style-type: none"> 貿易の役割や動向について学ぶとともに、国際収支について理解します。また、外国為替のしくみや、国際的な資金の流れについても学習します。さらに、我が国企業の海外進出の動向や海外進出にともなう企業経営の現地化、国際マーケティングの活動内容とその手法について学びます。 発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	A	B
3 学期	第5章 ビジネスの創造と地域産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 国際ビジネスにおいて生じる諸課題を具体的に取り上げ、その問題点や対策について考えます。また、戦後から現在に至るまでの国際経済体制の変化や、国際機構の役割について理解します。さらに、地域の発展・成長をねらいとした世界的な地域連携の動向について学びます。 行動の観察、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	—	A

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、期末に行う。3学期は、学年末考査を実施しない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	商業	科目	財務会計Ⅱ	学年 学科 類型	3年 商業科 Ⅱ型
単位数	2	教科書	財務会計Ⅱ (実教出版)		
副教材等					

学習の目標	<p>1 企業のグループ化、国際化、情報化等、経済社会の中で激しく変化している会計の状況について理解します。</p> <p>2 実務に対応した会計に関する知識と技術を習得し、ビジネスの諸活動において合理的に活用する能力と態度を養います。</p>
学習の方法	<p>・変化する企業環境と会計ビッグバン以降の会計に関する改正事項をまとめながら、具体的な実務の処理方法を学んでいきます。内容は、高等学校で学ぶ科目の中でも難しいものもありますが、教科書や問題集の例題にまじえて計算の方法を具体的に理解できるようにします。実際の会計処理をしっかりと考えながら知識と実践力を身に付けていきます。</p> <p>・全商会計実務検定試験（11月）の受験は、希望者としています。</p>

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1編 総論 1 財務会計の基本概念 2 資産負債アプローチ と 収益費用アプローチ 3 会計基準の国際的統合	<p>・今日の企業環境がどのように変化しているのか、そして、その変化に会計実務がどのように対応しているのか、さらに会計ビッグバンや会計の国際化の現状を理解し、会計実務の果たすべき役割について学習します。</p> <p>・行動の観察、発表、問題集、小テスト、定期考査</p>	B	B	A	—
1 学期 末	第2編 各論〔1〕 4 資産会計 5 負債会計 6 純資産会計 7 リース会計 8 税効果会計	<p>・今日の会計実務には、新しい領域がたくさん取り入れられています。税効果会計、また外貨建取引の会計、さらにはキャッシュフロー計算書について学習します。</p> <p>・発表、問題集、小テスト、定期考査</p>	A	—	—	B
2 学期 中間	第3編 各論〔2〕 9 外貨換算会計 10 キャッシュ・フロー 計 算書	<p>・今日の会計実務には、新しい領域がたくさん取り入れられています。税効果会計、また外貨建取引の会計、さらにはキャッシュフロー計算書について学習します。</p> <p>・発表、問題集、小テスト、定期考査</p>	A	—	—	B
2 学期 末	第4編 各論〔3〕 11 企業結合会計 12 連結財務諸表の作成 (その1) 13 連結財務諸表の作成 (その2)	<p>・企業のグループ化とは、どういうことをいうのか、そして企業グループの連結財務諸表は、どのようにして作成するのか、その手続きを学習します。さらに、有価証券報告書から得られる連結情報についても学習します。</p> <p>・行動の観察、発表、問題集、小テスト、定期考査</p>	B	B	A	—
	第5編 財務諸表の活用	<p>・コンピュータを利用した会計処理の特徴と利点について理解し、コンピュータ会計システムの導入および運用は、一般的にどのように行われるのかを学習します。</p> <p>・行動の観察、問題集、定期考査</p>	B	B	A	—
3 学期	第6編 監査と職業会計人	<p>・法人税の所得金額と税額の計算の基本的なしくみを理解し、基本的な例題によって確定申告書の作成について学習します。</p> <p>・行動の観察、発表、問題集、小テスト</p>	B	B	A	—

(備考) 1 定期考査は1、2学期は実施し、3学期は実施しない。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	商 業	科 目	ビジネス情報管理	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	3	教科書	ビジネス情報管理 (実教出版)		
副教材等					

学習の目標	1 企業内の情報通信ネットワークを構築して、円滑に運営する知識と技術を習得します。 2 販売情報システムや財務情報システムを開発する知識と技術を習得します。 3 ビジネスの諸活動において情報を管理し、共有することの意味や必要性について学習します。
学習の方法	この授業では、情報ビジネス科で2年間学んだ知識をもとに、システム開発を行います。データベースのシステムを作る実習を通して、ソフトウェア開発の手順を学び、ビジネスの情報処理に役立つSEの基礎的な技能を養成します。

学 期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学 期	第1章 ビジネスと情報システム	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの諸活動における情報システムの活用を取り扱い、業務を合理化するための情報システムの必要性について学習し、セキュリティ管理を行うための基礎的知識と技術を習得します。 ・課題プリント、小テスト、定期考査 	A	B	B	B
	第2章 情報通信ネットワークの構築と運用管理	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの仕組みと通信方法、ネットワーク機器の種類と機能などを取り扱い、情報通信ネットワークを構築し、円滑に運用管理するための基礎的知識と技術を学習します。 ・課題プリント、小テスト、定期考査 	B	B	B	A
2 学 期 中 間	第3章 ビジネス情報システム開発	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス情報システム開発に関する基本的な知識と技術を学習します。 ・課題プリント、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
2 学 期 末	第4章 システム開発実習	<ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれて、システム開発を行います。12月下旬にグループ別に作成したシステムについての発表を行います。 ・システム開発日誌、課題プリント、システム開発作品発表、定期考査 	B	B	A	B
3 学 期	第5章 システム開発冊子の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれて、システム開発の冊子を作成します。1月下旬にグループ別に作成したシステムについての発表を行います。 ・課題プリント、システム開発日誌、システム開発作品集 	B	B	A	B

(備考) 1 1学期の定期考査は、期末に行う。2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。